

工事概要

1. 工事業名	(仮称)グループホーム かがやき 新築工事				
2. 工事場所	佐々木春日字下小路2823-2				

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積(m ²)	建築面積(m ²)	消防法施行令別表第一による用途区分	備 考
寄居舎(共同生活援助事業)	木造	平屋	163.56 m ²	173.91 m ²	GⅥ口	

4. 工事項目(○印の付いたものを適用する。)

工事項目 建物別及び 屋外	工 事 種 別	備 考
・電灯設備		
・動力設備		
・電気設備		
・雷保護設備		
・電気配線設備		
・発電設備		
・構内情報通信設備		
・構内交換設備		
・情報表示設備		
・映像・音響設備		
・防犯設備		
・セキュリティ関連受信設備		
・監視カメラ設置設備		
・防火・入退室管理設備		
・自動火災報知設備		
・中央空調制御設備		
・構内転写機		
・構内通信設備		
・テレビ放送設備		
・その他	別紙仕様書による	

5. 指定部分 なし ・あり (工 期 :令和 年 月 日) (対象部分:)

6. 概成工期 なし ・あり (工事工期より 日前)

特記事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築物工事標準仕様書(電気設備工事編、令和4年版)」,公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、令和4年版)、国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境建設部の「公共建築物電気工事標準図書(電気設備工事編、令和4年版)」による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は(/)図、建築工事の特記仕様書は(/)図による。

2. 特記事項

(1) 項目番号は○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを使用する。○印の付かない場合は、○印の付いたものを使用する。
 ○印に○印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章 項 目	特 記 事 項																				
① 通用基準等	建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) 宮城県建設工事用語・下請関係適正化要綱(最新版) 建設工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 令和5年版) 及び工事写真撮影ガイドブック<電気設備工事編>(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 令和5年版)																				
② 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 本工事に使用する材料の運搬及び施工に当たっては、「県有施設のシグクハスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮するとともに、日本産業規格及び日本森林規格のF 規格品、炭素材料適合規格適合品または同等品、化学物質等取扱安全データシート等にホルムリンン使用が明示されたものとする。																				
③ 機材の品質・性能証明	本工事前に事前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」((一社)公共建築協会)によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																				
4. 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事後引渡し期日から火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。																				
5. 雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇入れに努める。																				
6. 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の着手に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。																				
7. 手続き	工事の着手、施工及び完了においては、官公署その他関係機関との必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が迅速かつ処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。																				
8. 施工条件	別添の施工条件明細書による。																				
9. 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の進捗に備へ中止期間中における工事現場の管理計画書を出すこと。本計画書には、中止時点における工事の出来高、撤入材料及び建設機械器具等の積置、中止期間中の休養及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。																				
10. 工事実績情報の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は、建設機械情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続を行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出すること。																				
11. 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。																				
12. 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。																				
13. 工事用電力、水、他	本工事に必要工事用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。																				
14. 工事用仮設物	構内に設置することが できない																				
15. 監督職員事務所	設けない ・ 設ける 号 ・ 建築工事)																				
16. 足場、さん棚欄	・ 別添の関係諸君が設置したものとは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 なお、枠組壁工法を用いる場合は、「手すり先行立法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)にもるとし、二面手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。																				
17. 工事表示板	設置する 設置せず 枚 管轄工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部管轄課(設備室制定))により設置する。 ・ 設置しない																				
18. 工事用通路	指定しない ・ 指定する (図示)																				
19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引当しを要するもの() ・ 特別管理指定廃棄物 (P C B使用機器) ・ 一般廃棄物・所在定地 () ・ 受入施設名・所在地 () ・ 埋却において再利用を図るもの() ・ 再資源化を図るもの()																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種 類</th> <th style="width: 30%;">受 入 施 設 名</th> <th style="width: 30%;">所在地(k m)</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種 類	受 入 施 設 名	所在地(k m)	備 考																
種 類	受 入 施 設 名	所在地(k m)	備 考																		
	・ その他安定型廃棄物 () ・ 受入施設名・所在地: () ・ その他管理指定廃棄物 () ・ 受入施設名・所在地: () ・ 埋却において再利用を図るもの() ・ 再資源化を図るもの()																				
P C B含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事後後監督職員に引き渡す。																					
20. 残土処理	構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出																				
21. 耐震施工	前置施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((独)建築研究所監修)による。 本工事の基礎設計は()、特定の施設()の設備()で基礎係数は1とし、設計用標準水平地震は下表のとおりとする。なお、()の設備()防振支持の機器の場合に適用する。																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">設置場所</th> <th style="width: 20%;">設置標準</th> <th style="width: 20%;">一般施設</th> <th style="width: 20%;">重要機器</th> <th style="width: 20%;">一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土留壁、上面及び柱層</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間層</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>一階及び地下層</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	設置標準	一般施設	重要機器	一般機器	土留壁、上面及び柱層	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間層	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	一階及び地下層	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
設置場所	設置標準	一般施設	重要機器	一般機器																	
土留壁、上面及び柱層	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																	
中間層	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																	
一階及び地下層	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																	

22. 風圧加重

風速 6.0 m/s
・ 雷保護設備受雷部

m/s
・ 照明ポール・基礎
・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

23. 他工事との工事区分

他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。

24. 保温、結露防止

外部に面する壁、天井で F P 板（スタイロフォーム等）打込み断熱に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。

25. 電線類

本工事は環境配慮の観点から、原則として E M ケーブルを使用するものとする。

26. 合成樹脂製可とう管

合成樹脂製可とう管は、P F 管（一重管）とし、温度による分類はタイプ・25 とする。

27. 二重金属製可とう管

露出箇所
いんべい箇所
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆あり
・ ビニル被覆なし
・ ビニル被覆なし

28. 電線本数、管径など

分電盤、制御盤、端子箱などの 2 次回路以降の配線経路、電線大さ、電線本数、管径などは、監督職員への承諾を受け変更しても構わない。

29. インサート

鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（重詰めめ製品）を使用する。

30. 呼び線

長さ 1 m 以上の通線しない電線管には、1.2 mm 以上のビニル被覆鉄線を通線する。

31. フラッシュプレート

図面に特記なき場合、（金属製（ステンレス・新金属も含む）・樹脂製）とする。

32. フロアプレート・ベース

水平低減調剤付（空転防止リング付）
・ 鋼合金製
・ アルミ合金製

33. ハンドホール蓋

異種およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。

34. 支持金物、固定金物

屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。

35. あと施工アンカー

施工方法
・ 接着系（有機系）
・ 金属拡張系（本体打込式）
・ 接着剤
・ 行わない
・ 行

36. 接地極の種類・表示等

接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、E の長さは 1,500 mm とする。
ただし、D = 10 は 1,000 mm、W = 30 は 1,200 mm とする。
支柱機器及び屋外用接地極の埋設深は不要とする。

接 地 極 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・ 雷保護設備用接地	E LA	以下	E P × 2
・ 雷保護設備用接地	E LA	以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 共用接地	E A・E D・E LH	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 共用接地	E A・E C・E D	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ A 線	E A	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ B 線	E B	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 2
・ C 線	E C	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ D 線	E D	100 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 1
・			
・ 構内交換機（機庫）用	E t	以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 本機庫の保安装置	E a	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 電送引込口の保安装置	E d	100 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 1
・ 伝送増幅器	E da	100 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 1
・ 防犯装置用	E s	以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・			
・ 測定用	E o	以下	E B (D = 10又はW = 30) × 1
・ 選流器用（低圧用）	E LL	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 選流器用（高圧用）	E HH	10 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 3 連・2 組
・ 選流器用（モジュール用）	E MD	100 以下	E B (D = 14又はW = 40) × 1
・ 構造体接地			建築規格準拠利用（適用用を含む）

37. 総合調整

各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。
・ 受電変設備
・ 発電設備
・ 照明装置
・ 構内交換設備

38. 塗装工事

下記部位に使用する外面のつき電線管の露出配管には塗装を施す。
屋外

39. 山留め

切取り面などにその箇所の土質に見合った勾配を保持して掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には山留めを行うものとする。

40. 舗装工事

国土交通省大臣官庁官庁管理監督の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）2 2 章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）2 2 章（舗装工事）による。

41. はつり

既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。

42. 再使用機器

再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定の上、取り付ける。

43. 撤去後の修繕等

機器撤去後の天井、壁及び床等の修繕は、既存仕上りと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に回復する。

44. アスベスト

アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理の上、監督職員へ報告すること
アスベスト使用状況（
）

45. 有害物質の取り扱い

P C B（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小型二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を抽出前に確認し、監督職員に報告を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

① 工事範囲

・ 配管
・ 配線
・ 分電盤類
・ 機器類

② 電気方式

・ 幹線 単相3線式 100 / 200 V 50 H z
・ 分枝 単相3線式 100 / 200 V
・ 分枝 単相2線式 100 V
・ 分枝 全金属配線
・ ケーブル配線

③ 施工方法

分枝 電灯
・ 合成樹脂管配線
・ 金属管配線
・ ケーブル配線
・ その他（
）
分枝 コンセント
・ 合成樹脂管配線
・ 金属管配線
・ フロアダクト配線
・ その他（
）
屋外露出
・ 合成樹脂管配線
・ 金属管配線
・ ケーブル配線
ボックス
・ 合成樹脂製
・ 金属製

④ 照明器具

L E D
・ 一体型
・ 直管型 (JEL801)
・ 直管型 (JEL802)
・ ダウンライト
・ その他

⑤ 防炎用照明器具

・ 非常用照明器具（電池内蔵形）
・ 誘導灯（L E D 誘導灯）
・ 電源別置形）
・ 誘導標識

6. 照度測定

照度測定は、原則、本工事範圍全てを行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。

7. ハイテンション
アウトレット

銅合金製
・ アルミ製
飛び出し形
・ 外部固定形

8. 人感センサプレート

照明の人のセンサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。

9. 予備配管

埋込形の端子箱からの立上り予備配管は、予備の配管用遮断器が4個以下の場合には（P F 2）を1本、5個以上の場合には（P F 2）を2本以上、天井裏まで立上げる。
梁下に配管・配線スペースのない梁には、1.2インチに V E（36）を予備スリーブとして埋込む。

1. 工事範囲

・ 配管
・ 配線
・ 制御盤類

2. 電気方式

・ 幹線 単相 3 線式 2 0 0 V 5 0 H z
・ 分枝 単相 3 線式 2 0 0 V

3. 施工方法

幹線
・ 金属管配線
・ ケーブル配線
・ その他
分枝
・ 合成樹脂管配線
・ 金属管配線
・ その他
屋外露出
・ 合成樹脂管配線
・ 金属管配線
・ ケーブル配線
ボックス
・ 合成樹脂製
・ 金属製

電 気 設 備	4. 警報盤	壁掛形（電源装置 内蔵 ・ 別置 ） ・
	5. 電磁閉開器用押扣（遠方操作）	埋込連用形配線器具 ・
	6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8. 連相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
電 気 設 備	9. 電気自動車用充電装置	・ 機器類 ・ ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型 ・ 急速充電装置 直流電圧 V
	1. 電気方式	幹線 相 線式 V 50 Hz 分岐 相 線式 V
	2. 施工場所及び面積	・ （ m ² ） ・ （ m ² ）
	1. 工事範囲	・ 受電部 ・ 引下げ導線 ・ 接地極埋設
	2. 受電部	・ 突針 ・ 機上構体 ・ 笠木（別途）など
電 気 設 備	3. 避雷導線	・ 引下げ導線 ・ 構造体利用
	4. 接地極	接地極埋設 ・ 構造体利用（測定時期 回数 ）
	5. 測定用補助接地極	・ 設置
	1. 工事範囲	・ 機器類 ・
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6 kV 50 Hz ・ 低圧 三相3線式 200 V ・ 低圧 単相3線式 100 V / 200 V
受 変 電 設 備	3. 引込ケーブル	・ EM - CET 38 ° ・ EM - CET 60 ° ・ EM - CET 38 ° - 3 C ・ EM - CET 60 ° - 3 C
	4. 配電盤	・ 屋内形 ・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤 ・
	5. 主遮断装置	限流ヒューズ及び高負荷開閉器（PF・S） ・ 高圧交流遮断器（CB） 定格遮断電流 kA
	6. 高圧機器類	・ 油入式 ・ モールド ・ 手動 ・ 電動 ・ 電磁 ・ 単相変圧器 kVA ・ 三相変圧器 kVA （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）
	7. 変圧器	・ 低圧 ・ 高圧 ・ 油入式 ・ モールド ・ ガス式
電 気 設 備	8. 進相用コンデンサ	・ 6 % ・ 1 3 % ・ 油入式 ・ モールド
	9. リアクトル	・ 6 % ・ 1 3 % ・ 油入式 ・ モールド
	10. 自動力率制御装置	・ メーターリレー形 ・ 静止形
	11. 測定用補助接地極	・ 設置
	電 力 計 測 設 備	1. 直流電源装置
2. 交流無停電電源装置		用途（ 容量 ） 蓄電池 ・ 鉛蓄電池（ ・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形 MSE （ ・ ） ・ アルカリ蓄電池（ ・ AH ・ AMH ・ ） ・ リチウムイオン蓄電池（ ）
1. 工事範囲		・ 機器類 ・
2. 形 式		・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ ・ 屋外形 ・ 屋外形
3. 発電機		電気方式 相 線式 50 Hz 電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間
発 電 設 備	4. 原動機	種類 ・ ディーゼル ・ ガスタービン ・ 定格出力 kW以上（ 空気式以上） 始動方式 電気式 ・ 空気式 冷却方式 ラジエータ式 ・ 水冷機式
	5. 燃 料	種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 燃料小出槽 L 主制御機 なし ・ あり（ ・ 別途 ・ 本工事： ） 太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転 ・ 有（ ・ 無 蓄電池 有（ ・ 定格容量 kWh ） ・ 無
	6. 太陽光発電装置	・ 有 ・ 無
	7. 系統連系	・ 有 ・ 無
	1. 工事範囲	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
構 内 交 換 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM - TIE F D . 65 - 2 C （ ・ 20 m ・ ） ・ EM - EBT 0 . 4 - 2 P （ ・ 20 m ・ ） ・ ワイヤープロテクタ （樹脂製 外形寸法約20×8）1.5 m
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	一般電管用 個（ ・ 納入する ・ 取り付ける ） 銅合金製 ・ アルミ製
	5. 保安器用接地	本工事 ・ 別途工事
	1. 工事範囲及び施工方法	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線（ ・ 全部 ・ 端子盤以降 ）
通 信 設 備	2. 電話交換機	形式 局線 / 局線 内線 / 局線 回線数 局線 / 局線 内線 / 局線

火災報知設備	① 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
	② 火災報知装置	・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 受信機 型 級 回路 (アドレス) ・ 受信機 型 級 回路 (火報 回路 , 自動開鎖 回路 , ガス漏れ 回路) ・ 耐受電機 型 級 ・ 機器受信箱 ・ 専用形 (・ 埋込形 ・ 露出形) ・ 屋内消火栓箱に組み込み ・ 感知回路 型用 総数 個 (・ 自動試験機能付) ・ 非常ベル (自動式サイレンを含む) ・ 非常放送装置
	③ 非常警報装置	
	④ 自動開鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動開鎖装置 (・ 防火戸用 ・ 防煙ダンバ用 ・ 防火シャッター用) ・ 感知器
	⑤ ガス漏れ火災警報装置	・ 受信機 回路 (・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用) ・ 単独 (・ 壁掛形 ・ 自立形) ・ 火災受信機などとの複合機 ・ 検知器 ・ 併設 (・ 運動 ・ 停電電圧 100 V ・ AC100V ・ DC24V) ・ ガス検知出力信号 (・ 無電圧出力方式)
⑥ 消火器類	・ 消火器収納箱 種類 : 数量 , 本 数量 , 面	

火災報知設備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
	2. 監視制御対象設備	・ 動力設備 ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 火災報知設備
	3. 表示操作盤	・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 組み込み機器 ・
	4. 監視制御装置	構成機器 ・ グラフィックパネル ・ 内蔵液晶ディスプレイ ・ 操作卓 ・ 監視操作装置 ・ 信号処理装置 ・ 伝送装置 ・ 分散処理装置 ・ 中央処理装置 ・ 補助記憶装置 ・ 記録装置 ・ 電源装置 ・ 帳票用印字装置 (・ インクジェット式 ・ 写真式)
	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 機器類
機内通信回路	2. 電気方式	・ 高圧 三相 3 線式 6 kV 50 Hz ・ 低圧 三相 3 線式 200 V ・ 低圧 単相 3 線式 100 / 200 V ・ 低圧 単相 2 線式 100 V
	3. 布設方法	・ 地中埋設 (・ FEP ・ GLT ・ 厚銅導線管) ・ 架空線式
	4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 ・ 避雷器 ・ 高圧カットアウト , がいしなど
	5. 高圧ケーブルの端末処理	屋外側 一般用 ・ 耐塩用 処理者銘板取付 (屋外側全 , 線名 , 作業日 , 氏名を表示)
	6. その他	東北電力 (株) 外線工事基準 (架空線) に準ずる。
	7. 外灯設備	・ 定格電圧 V W
	8. 次下対策	地中管路及びバンドホール等次下が考慮される場合は , 次下対策を施す。 ()
	9. 標識シート	・ 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル
	10. 予備配管	屋外キュービクルから第 1 バンドホールまでの予備配管 (FEP100 : 1 本) を設ける。 分盤室 , 動力室から建物へのバンドホールまでの予備配管 (FEP80 : 2 本) を設ける。
	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線
2. 用途	・ 電話用 ・ 時計 , 拡張用 ・ 火災報知用	
3. 施工方法	・ 地中埋設 (・ FEP ・ GLT ・ 厚銅導線管) ・ 架空線式	
4. 標識シート	弱電用	

電 力 設 備			電 力 設 備		
名 称	選 定	取付高 (mm)	名 称	選 定	取付高 (mm)
電力 共通	取引用計器	地上 - 取付点 約 1,800	電 話	引込線段の高さ	地上 - 引込点
	引込開閉器	床下 - 中心 1,800 - 2,200		集合保安装置箱	天井下 - 上端 200
	分電盤	床下 - 中心 1,500 (上端 1,900 以上)		端子盤 (廊下、室内)	床下 - 下端 300
				端子盤 (廊下、室内)	床下 - 中心 1,500
電 灯	スイッチ (一般)	床下 - 中心 1,300	話	置付アウトレット (一般)	床下 - 中心 300
	「 (和 室) 」	1,200		「 (和 室) 」	150 - 200
	コンセント (一般)	300		管理の引き	床下 - 中心 1,500 (上端 2,000 以上)
	「 (廊 下) 」	150 - 200		子時計	2,300
電 灯	「 (台 上) 」	100	通 信	集線形スピーカ	2,300
	「 (ファン用) 」	ファン下端		置付インターホン (一般)	床下 - 中心 1,300
	「 (廊 下) 」	800 - 1,000		「 (身体障害者) 」	1,300
	「 (庫 庫) 」	1,300		置付アウトレット (一般)	300
電 灯	「 (暖 房) 」	500 - 1,000	設 備	置付アウトレット (和 室)	150 - 200
	「 (土 間) 」	800 - 1,300		機器収納箱	200
	ブラケット (一般)	2,100 - 2,300		直列ユニット (一般)	300
	「 (機 庫) 」	2,000 - 2,500		「 (和 室) 」	200
電 灯	「 (機 庫) 」	2,000 - 2,500	警 報	表示盤	床下 - 中心 2,300
	避難口誘導灯	床下 - 下端 1,500 (上)		置付受信機	1,300
	「 (機 庫) 」	床下 - 上端 1,000 (上)		ベルリッパ チェーム	2,300
	廊下通路誘導灯	床下 - 上端 1,500 (上)		置付押しボタン (一般)	床下 - 中心 1,300
動 力	「 (機 庫) 」	床下 - 中心 1,500 (上端 2,000 以上)	表 示	「 (身体障害者玄関) 」	900
	開閉器箱	1,500		受電機	床下 - 中心 800 - 1,500
	力 電磁開閉器用ボタン	1,500		耐受電機	800 - 1,500
	非常ボタン (使用済)	床下 - 中心 400, 900		機器受信箱	800 - 1,500
身 障 者 用	置付インターホン (取機)	1,300	消 火	発光機	800 - 1,500
	「 (廊 下) 」	1,100		表示灯	床下 - 中心 2,100
	「 (土 間) 」	1,300		ベル	2,300
	廊下表示灯 (復旧ボタン付)	1,300		液化石油ガス用換気器	250
機 器 完 成 図	身障表示ランプ	1,500	器 材 完 成 図	都市ガス用検知器 (軽質)	150
	スイッチ	1,100		「 (重質) 」	床下 - 上端 250

表 1 「完成書類」 リンク渡し時に下記の書類を提出する。					
名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成調書	竣工様式完成引渡要領 (令和 3 年 4 月 1 日版)	1 部	6 取説説明書	A 4 版 : 黒紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1 部
② 完成図書	A 4 版 : 黒紙金文字製本 (機器説明書, 取説説明書と合本可。 ただし, 厚さが 8 0 mm を超える場合は 分冊とする。)	1 部	7 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
③ 完成図 (縮小)	白線縮小製本 A 3 版二小折り JWW 又は DXF 形式の CAD データ及び PDF 形式	2 部	8 工事写真	A 4 版 : チューブ式ファイル (着手前 , 施工状況 , 完成の各写真)	1 部
4 完成図 - 施工図 (電子データ)		2 枚	9 完成写真	A 4 版 : チューブ式ファイル A 4 版 : ペーパーファイル 完成図面に添付	1 部
⑤ 機器完成図 機器材完成図 機器材管証明書 機材材管証明書 工場検査成績書 工場検査成績書 現場検定記録成績書 総合試験成績書	A 4 版 : 黒紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1 部	10 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			11 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			12 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			13 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			14 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			15 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			16 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			17 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			18 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			19 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			20 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			21 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			22 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			23 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			24 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			25 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			26 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			27 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			28 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			29 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			30 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			31 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			32 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			33 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			34 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			35 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			36 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			37 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			38 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			39 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			40 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			41 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			42 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			43 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			44 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			45 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			46 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			47 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			48 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			49 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			50 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			51 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			52 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			53 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			54 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			55 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			56 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			57 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			58 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			59 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			60 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			61 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			62 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			63 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			64 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			65 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			66 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			67 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			68 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			69 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			70 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			71 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			72 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			73 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			74 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			75 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			76 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			77 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			78 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			79 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			80 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			81 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			82 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			83 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			84 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			85 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			86 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			87 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			88 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			89 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			90 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			91 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			92 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			93 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			94 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			95 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			96 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			97 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			98 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			99 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部
			100 工事に関する書類	A 4 版 : チューブ式ファイル	1 部

備 考	訂 正	内 容	TITLE （仮称）グループホーム かすが 新築工事	SCALE	DATE
			SUBTITLE 特記仕様書	1 級建築士事務所 長野県知事登録（佐久）B 第81221号	DRAWING NO E - 1
			ア ー ト 建 築 設 計 (A R T) 長野県 小諸市 与良町 1 - 1 - 5	TEL (0267)23-8551 FAX (0267)23-8663	1 級建築士 第 1 6 3 9 5 2 号 小林 雅博